

J A 玖珠九重の自己改革の取り組み

令和元年6月時点作成

農業者の所得増大 ・ 農業生産の拡大

- ① 「重点品目」の作付面積拡大に向けた新規就農者の確保
- ② 認定農業者の育成
- ③ 選定農家の飼養頭数増頭による生産拡大
- ④ 直販所の新規会員の拡大
- ⑤ 契約販売の拡大
- ⑥ 良食味米の生産による高付加価値化販売
- ⑦ 営農指導員の資格取得者の拡大

地域の活性化

- ⑧ 日本型食生活の推進と消費拡大を進める
- ⑨ 充実した活動や学習を通じて次代に繋ぐリーダー育成

その他(周知活動・職員研修等)

- ⑩ 買い物弱者支援を兼ねた「移動店舗車両」の導入

①「重点品目」の作付面積拡大に向けた新規就農者の確保

取組の概要

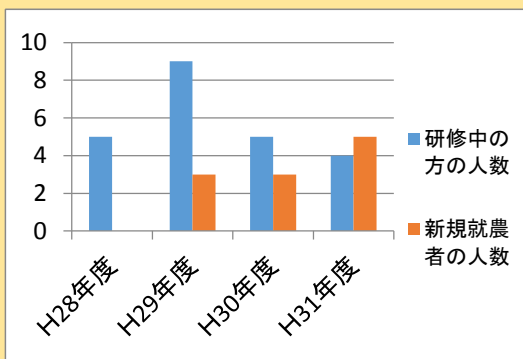
- ・「トマト、白ねぎ、胡瓜、ピーマン、花き、子牛、直販野菜」を『**重点品目**』に選定
- ・生産者の高齢化が進む中、園芸品目の面積拡大に向け「新規就農者」を育成・確保
- ・**新規就農者の確保目標：6名**（3ヶ年）

具体的な取組の内容

- ・行政、生産部会等と一体となった『ファーマーズスクール』の設立と参加
 - ▶ 九重町：トマトファーマーズスクール
 - ▶ 玖珠町：ピーマンファーマーズスクール、ベジタスクール連絡協議会(直販向け野菜)
 - ▶ 就農コーチはもとより、県や部会、県立玖珠美山高等学校との連携による研修体制
 - ▶ 各地で開催される新規就農セミナー・相談会等への参加 ⇒ 就農希望者の確保
 - ▶ 部会の行事等への参加(研修生) ⇒ 知識の向上と交流を深めてもらう
- ・就農体験会や短期研修等の開催
 - ▶ 部会生産者の圃場等をお借りし、就農体験会や情報交換会を開催
 - ▶ J A 管内の視察巡回 ⇒ 先進農家や地域環境の視察等を通じ地域を知ってもらう
- ・就農ガイドセンターの設置
 - ▶ 新規就農者の育成・支援窓口として、J A 内に「就農ガイドセンター」を設置
 - ▶ 新規就農応援事業等を活用した、新規就農者の営農支援並びに研修受入れ者の支援

取組の成果

＜新規就農者数の推移＞



＜ファーマーズスクールでの研修取組み＞

新規就農者実績：**6名**



組合員の声・期待

- ・高齢化等による生産者数の減少に歯止めがかかることを期待している
- ・部会の若返りが図られ、活動が活発化

② 認定農業者の育成

取組の概要

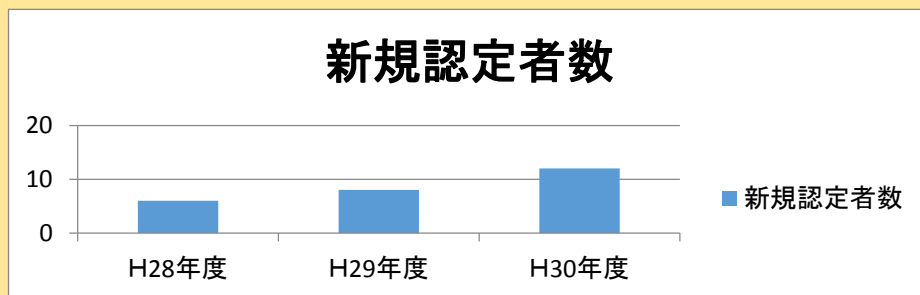
- ・経営改善計画の作成と計画に沿った経営の実践を目指す
- ・各種支援施策の取組み可能な農業者を育成
- ・新規認定者の目標：**18名**（3ヶ年）

具体的な取組の内容

- ・『認定農業者制度』の周知活動を実施
 - ▶ 各生産部会での会議等の場を活用して「制度・メリット」の説明
 - ▶ JAの広報誌を通じてのPR活動の実施
 - ▶ 集落座談会を通じてのPR活動の実施
- ・経営改善計画の作成支援
 - ▶ 認定申請希望者に対する相談対応
 - ▶ 経営改善計画等の作成支援

取組の成果

<新規認定農業者数の推移> 新規認定者実績：**26名**



組合員の声・期待

- ・経営改善計画の作成により、経営改善に対する意識が変化
- ・各種支援施策の対象となることができ、メリットを感じる

③ 選定農家の飼養頭数増頭による生産拡大

取組の概要

- ・繁殖牛の戸当たり飼養頭数の増頭

目標：選定農業者により3ヶ年で飼養頭数**170頭**を増頭

具体的な取組の内容

・増頭が見込まれる農業者の選定

- ▶ 管内の認定農業者92戸の中から対象農家を選定
- ▶ 選定した44戸を対象とし増頭を推進
(選定した44戸で管内飼養頭数全体の68%を占める)

・増頭を促進するための情報提供

- ▶ 国庫、県単事業（補助事業）の活用
- ▶ 保留・導入対象牛の選定（産肉能力等の情報提供）

・畜産技術者による定例の担当者会議開催（月1回）

- ▶ 県（家畜保健衛生所、振興局）、共済組合、市町村、農協による連携強調を図り、各種情報共有による農家指導の実施

取組の成果

＜選定農業者の頭数推移＞

	①基準年 (H27年度末)	H28年度末	H29年度末	② H30年度末	比較増減 ②－①
飼養頭数計	1,502頭	1,638頭	1,660頭	1,678頭	176頭
単年度増頭数		136頭	22頭	18頭	

- ・3ヶ年で**176頭の増頭** ⇒ 認定農業者**戸当たり4頭**(平均)の増頭

組合員の声・期待

- ・高齢化等による飼養頭数の減少が進む中、増頭確保は必須。JAの取組みに期待！

④ 直販所の新規会員の拡大

取組の概要

- ・直販所の新規出荷会員を増やす
- ・目標：3ヶ年で **100名増**

具体的な取組の内容

- ・新規会員の募集に向けた取組み
 - ▶ J A広報誌を通じた呼びかけ ⇒ 直販部会役員による相談対応
 - ▶ J A集落座談会を通じた呼びかけ



- ▶ 新規加入者説明会の開催

取組の成果

<新規直販部会員推移>

	H28年度	H29年度	H30年度	3ヶ年累計
単年度増加数	36名	49名	57名	142名

- ・3ヶ年で **142名**の新規会員増

組合員の声・期待

- ・高齢者組合員や女性組合員の活躍の場を広げて行ってほしい

⑤ 契約販売の拡大

取組の概要

- ・契約方式による新規販売(取引)先の拡大⇒ **農家手取りの増加!**
- ・目標: 3ヶ年で **2 販売(取引)先**

具体的な取組の内容

- ・**玖珠九重産農産物のPR活動**
 - ▶ 県外スーパー等でのフェア開催 ⇒ 商品提案とファンづくり
 - ▶ マーケット調査の実施
- ・**地元での取引先開拓** ⇒ 地産地消・食育活動
- ・**米の直接取引** ⇒ 「良食味米」での差別化販売

取組の成果

- 3ヶ年で **2 販売(取引)先**との取引開始

＜新規契約取引の概要＞

- ・玖珠町学校給食センターへの野菜供給
- ・生椎茸の相対販売
- ・その他次年度以降に向けた商談、試験

組合員の声・期待

- ・組合員所得の拡大を期待

⑥良食味米の生産による高付加価値化販売

取組の概要

- ・良食味米の生産・販売に向け、関係機関と共に「プロジェクトチーム」を組織
 - ◎ 食味ランキング『特A』3年連続獲得をめざす！
- ・JA独自基準による食味値(タパク質含有率)目標の設定 ⇒ 5.9% 以下
- ・目標値をクリアした米の占有率を設定 ⇒ 全集荷販売量の5%以上

具体的な取組の内容

・良食味米プロジェクトチームの立ち上げ

- ▶ 地域農業再生協議会を母体に関係機関(県振興局、町、JA、JAの直販子会社)で組織
- ▶ 『特A』評価の連続獲得に向け、現状の課題・問題点の整理分析に取り組む
- ▶ 生産(管理)技術の高位平準化、新たな販売方法やアイテムの導入に向けた協議・検討



・栽培管理技術の高位平準化をめざした、各種研修会や講演会等の開催

- ▶ 良食味米生産に向けた「講演会」の開催・・・九州大学大学院農学研究院特別教授
- ▶ 各種栽培講習会(座学・現地圃場)の開催
- ▶ (財)日本穀物検定協会への視察研修・・・食味審査の方法と評価

・高付加価値販売を目指した取組み

- ▶ 入庫時の食味値(タパク質含有率他)全サンプル検査の実施 ⇒ 生産者へフィードバック
- ▶ JA玖珠九重「うまい米！食味コンテスト」の開催
 - 一次：品質審査(目視・機器) 二次：白米味度値(機器) ⇒ 上位10点を選抜
 - 最終：食味官能(実際に食す)審査 ⇒ 上位5点を選抜し『栽培名人に認定』
- ▶ 上記取組みを踏まえ、消費者・販売店等へ『プライベート商品』としての提案

取組の成果

＜タンパク質含有率の推移＞

H27 ⇒ H30

5.9%以下： 0.1% 1.1%

6.3%以下： 8.0% 16.1%

※目標達成は出来なかったが、6.3%以下の米が15%増加となり、全体的な食味値のレベルアップが図れた

＜食味ランキング結果の推移＞

日本穀物検定協会 食味ランキング結果（当産地分のみ抜粋）

	H30年産	H29年産	H28年産	H27年産
大分西部 ひとめぼれ	特A	特A	特A	A'

組合員の声・期待

- ・食味ランキングでの「特A評価 3年連続獲得」を高値販売へつなげて欲しい

⑦ 営農指導員資格取得者の拡大

取組の概要

- ・営農・経済部門の体制強化に向け、『営農指導員』資格取得者を増やす
- ・目標： 新規取得者3ヶ年で**7名**

具体的な取組の内容

- ・資格認証試験への取組み
 - ▶ 営農・経済部門担当者を中心に受検者をリストアップ
 - ⇒ ・事前講習会への参加
 - ・過去問等を活用した事前対策実施
 - ・先輩指導員のフォローアップ取組み

取組の成果

<年度別営農指導員試験合格者数>

	H28年度	H29年度	H30年度	3ヶ年累計
合格者数	2名	2名	0名	4名

- ・3ヶ年で**4名**が資格取得

組合員の声・期待

- ・「農家所得の向上」のため、営農・経済事業の体制強化を望む

⑧ 日本型食生活の推進と消費拡大を進める

取組の概要

- ・小・中学生を対象に、食育活動を実施。
- ・目標：食農教育活動 **年3回**実施

具体的な取組の内容

- ・郷土料理の伝承に向けた取組み
 - ▶「鶏めし教室」「だんご汁教室」の開催
 - ⇒ 女性部員の指導のもと、中学生がおばあちゃんの味に挑戦！
- ・米の消費拡大に向けた取組み
 - ▶「米粉料理教室」「餅つき体験学習」の開催
 - ⇒ ・県振興局職員による、「米粉の現状」に関する授業！
 - ・女性部員の指導のもと、「米粉クレープ」「米粉ピザ」づくりのに挑戦！
 - ・小学5年生が、「自分達で栽培したもち米」を使って「餅つき」に挑戦！ ⇒ 稲作部会員がバックアップ！

取組の成果

<各種教室等の開催実績>

	H28年度	H29年度	H30年度	3ヶ年累計
開催数	1回	2回	2回	5回
開催内容	鶏めし教室	だんご汁教室	米粉料理教室	
		餅つき体験学習	餅つき体験学習	



組合員の声・期待

- ・地元の子供達とのふれあいが出来て良かった

⑨ 充実した活動や学習を通じて次代に繋ぐリーダーの育成

取組の概要

- ・グループ別活動を通じた、リーダーの育成。
- ・目標： 目的別グループ **5グループ**の展開

具体的な取組の内容

- ・目的別グループ活動の実施とリーダーの育成
 - ▶ 子育て支援 ⇒ ・「**読書ボランティアグループ**」の取組み
 - ・放課後の小学生等を対象とした、読み聴かせ活動
 - ・熊本県で開催された研修会へ女性部員の代表が参加
 - ▶ 高齢者支援 ⇒ ・「**高齢者福祉支援活動グループ**」の取組み
 - ・女性部員による健康体操や茶話会等の開催
 - ・手料理を参加者全員で作成、食事会を通じて楽しく会話

取組の成果

＜目的別グループの活動実績＞

- ・「読書ボランティア」・・・1グループ（九重地区）
- ・「高齢者福祉支援活動」・・・2グループ（九重地区：1、玖珠地区：1）
- ・3ヶ年で、**3グループ**が発足・活動



組合員の声・期待

- ・健康体操や、茶話会等を通じて女性部員さんと交流が出来て楽しかった

⑩ 買い物弱者支援を兼ねた 「移動店舗車両」の導入

取組の概要

- ・組合員の高齢化が進む中、金融事業を中心とした組合員サービスと買い物弱者支援を兼ねた「移動店舗車両」を導入

具体的な取組の内容

- ・「移動店舗車の導入」
 - ▶ オンライン端末機を搭載した「移動店舗車両」を導入、併せてAコープとの提携により、買い物弱者支援を目的とした購買店舗コーナーを併設
 - ⇒ ・導入に向けた専門委員会の設立、協議
 - ・先進導入JAの視察（宮崎県：JA西都）
 - ・巡回コース、停車場所等の検討
 - ・関係行政（町への支援要請（ランニングコスト面）

取組の成果

- ・移動店舗車両の導入



組合員の声・期待

- 交通手段の少ない高齢組合員等の生活支援に期待・・・。